

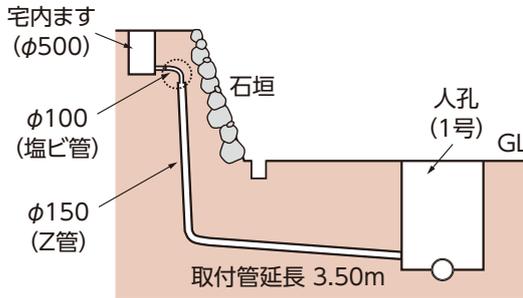
# 施工実例 取付管ライニング

## 8 取付管ライニング … 特殊なZ管の施工実例

φ100(塩ビ管)～φ150(Z管)  
取付管延長:3.50m

施工前  
(取付管カメラ)

状況



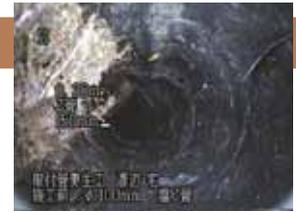
塩ビ管(φ100)とZ管(φ150)の継ぎ目より木の根の侵入が度々有り、その都度処理してきたとのこと。開削敷設替えは、石垣があるため不可能であった。

施工方法

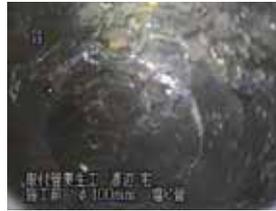
施工中  
前処理工 フレキシブルカッターに特殊治具を装着し、Z管表面の浮いている部分を滑らかにするように処理する。



φ100 塩ビ管



継ぎ目の木の根侵入



90度曲がり部分



最終管口部分

施工後



直管部分



継ぎ目部分の木の根侵入箇所



90度曲がり部分



最終管

## 9 取付管ライニング … 狭小道路での施工実例

状況

FRP光硬化取付管ライニングの施工においては、ライニング機材は分割式で、非常にコンパクトになっており、少人数での移動が可能です。

施工時にはライニング機材の他に発電機(3Kva以上)とコンプレッサー(20ps以上)が必要となりますが、実際の現場施工では、2トンダンプの荷台にコンプレッサー/発電機/ライニング機材の全てが積載することが可能であり、コンパクトな形態で作業にあたって頂いています。

しかしながら、地域によっては、道幅2m以下の2トンダンプも入れないような現場もあり、コンプレッサーを広い場所に置いて圧縮空気供給用のホースを伸ばしたりしての対応が主流です。

### 対策施工例

軽自動車も進入できないような箇所での施工実例



広い場所でコンプレッサーをハンドリフトに載せかえる



3Kva発電機は車輪つきを選択して、人力での移動が可能



トラック等も進入出来ない狭小道路等での取付管ライニングの施工状況